

試験科目及び配点について

【行政】

	行政Ⅰ		行政Ⅱ		行政Ⅲ	
1次試験	教養試験	15点	教養試験	30点	基礎能力試験 (S P I 3)	—
	専門試験	30点	論文試験	15点		
2次試験	論文試験	10点	—	—	論文試験	25点
	口述試験 (個別面接2回)	45点	口述試験 (個別面接2回、 集団討論)	55点	口述試験 (個別面接2回)	75点
	適性試験	—	適性試験	—	適性試験	—

※個別面接では、主として人物評価のための面接を実施します。ただし、「行政Ⅲ」で実施する個別面接のうち1回はアピール審査型の面接を行います。

【土木】

	土木Ⅰ		土木Ⅱ	
1次試験	教養試験	15点	基礎能力試験 (S P I 3)	—
2次試験	専門試験	30点	—	—
	論文試験	10点	論文試験	10点
	口述試験 (個別面接2回)	45点	口述試験 (個別面接2回)	90点
	適性試験	—	適性試験	—

※「土木Ⅰ」の個別面接では、主として人物評価のための面接を実施します。

「土木Ⅱ」の個別面接では、主として人物評価のための面接と専門性審査のための面接を各1回実施します。

【合格者の決定方法】

「行政Ⅰ」「行政Ⅱ」「土木Ⅰ」は全試験科目を総合的に判定し、高点順に最終合格者を決定します。
「行政Ⅲ」「土木Ⅱ」は、基礎能力試験 (S P I 3) の標準得点の高点順に第1次試験合格者を決定し、最終合格者は第2次試験実施科目のみを総合的に判定し、高点順に決定します。(第1次試験の結果(基礎能力試験の標準得点)は引き継ぎません。)